

令和元年6月14日

## 令和元年度 全国山岳遭難対策協議会開催要項

### 1 趣 旨

登山における遭難事故を防止するため、山岳関係者や山岳遭難対策関係者の参加を求め、山岳遭難の原因等について研究協議し、今後の遭難対策の具体的施策に役立てる。

### 2 主 催 スポーツ庁

共 催 環境省、警察庁、気象庁、消防庁、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所、山岳遭難対策中央協議会

### 3 期 日 令和元年7月5日（金）

### 4 会 場 文部科学省 3階講堂

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

電 話 03-5253-4111 [内線3939]

F A X 03-6734-3792

### 5 参加者 350名程度

- (1) 各都道府県教育委員会の関係者
- (2) 高等学校登山部(山岳部)、高等専門学校山岳部、大学山岳部の関係者(顧問、監督、コーチ等)
- (3) 各都道府県山岳遭難救助組織(都道府県遭難対策協議会、警察、消防防災、自然公園保護等)の関係者、各都道府県山岳連盟(協会)の関係者
- (4) 山岳ガイド、山小屋の関係者、旅行会社等のツアー登山関係者、メディア関係者、登山道具製造業関係者、登山道具小売業関係者
- (5) その他山岳団体関係者

※参加希望者多数の場合は各主催団体において調整することとする

#### 枠配分（目安）

	講師	主催者事務局	環境省	警察庁	消防庁	日山協	報道	スポ庁他
令和元年	8	20	10	60	150	45	4	55
※昨年	6	20	10	60	150	45	4	55

6 内容

9:30 ~	受付	
10:00 ~10:10	開会式	
10:15 ~10:55 (40分)	報告Ⅰ	「長野県消防学校の「山岳救助科」の概要について」 長野県危機管理部消防課 企画幹 小林 信彦氏
10:55 ~11:35 (40分)	報告Ⅱ	「平成30年における山岳遭難の概況」 警察庁生活安全局生活安全企画課地域警察指導室 課長補佐 橋本 和也氏
11:35 ~12:05 (30分)	講演	「ココヘリによる救助実績報告」(案) 講師：AUTHENTIC JAPAN (株) 代表 久我 一総氏
12:05 ~13:05 (60分)	昼休憩	
13:05~17:00 (235分)	遭難対策の実効性を高めるためのアイデアとカウンターパートナーを探そう ~ワークショップ形式~	
13:05 ~13:20 (15分)	講義	「遭難対策の多様性 (マトリクス)、事例の位置付け」 ・遭難対策を未然防止/ダメージコントロール (危機管理) に分類 ・ハードからソフト管理へ 講師：村越 真氏 (静岡大学教授)
13:20 ~13:40 (20分)	講演①	「安全登山対策の更なる充実に向けて」 ・リスクマネジメントの視点に基づく「富山型の総合的安全登山対策」について講演 講師：磯 孝行氏 (富山県生活環境文化部 自然保護課 課長補佐)
13:40 ~14:00 (20分)	講演②	「山岳安全対策ネットワークについて」 ・コンパスシステム×ドローン衛星システムを活用した実証実験について講演 講師：藤本 亮志氏 (鳥取県警察本部生活安全部地域課 課長補佐)
14:00 ~14:25 (25分)	ワーク & シェア	「カウンターパートナー考えよう」 ・ワークシートを活用して「自分が主体である遭難対策の良きカウンターパートナーは誰か？」を検討。 Ex：道標、看板の多言語化→県 or 環境省、救助体制の強化→県警、消防、遭対協 情報提供→登山用品店、山小屋 等々 ・質疑応答、数人に発言を求める
14:25 ~14:35 (10分)	小休憩	
14:35 ~15:20 (45分)	講演③	「山岳遭難対策を法的に考えてみよう」 ・行政の法的責任・責任の限定、救助隊の法的責任・責

		任の限定（消防・警察・民間）等 ・登山届出条例の比較 等 講師：溝手 康史氏（弁護士：みぞて法律事務所）
15:20 ～16:05（45分）	講演④	「山岳遭難救助のリスクマネジメント」 ・救助現場におけるリスクマネジメントについて実体験や実例を紹介しながら講演する ・救助義務を果たすことと隊員の安全確保のジレンマ。二つの目的を果たすための取り組みについて（ヨーロッパ視察を中心に）。等 講師：柳澤 義光氏（富山県警察山岳警備隊長）
16:05 ～16:40（35分）	パネルディスカッション	パネルディスカッション ・ディスカッションを通じて法的問題や救助隊のジレンマについて参加者の理解を深める
16:40 ～16:55（15分）	ワーク&シェア	「遭難対策に主体的に取り組むには？」 ・自分たちが主体となって取り組むべき遭難対策は何か？そこに不足はあるか？不足を補うパートナーは誰か？ 等 ・質疑応答、数人に発言を求める
16:55 ～17:00（5分）	まとめ	村越ファシリテーターコメント
17:00 ～17:10	閉会式	

※講演者・内容は変更となる可能性もあります

## 7 申し込み

別紙様式に必要事項を記入の上、令和元年6月27日（木）までに、所属別に下記の関係省庁・団体等へ申し込むこと。

	所 属	申込先 F A X	担 当 所 属	担当者
1	警察庁関係者	03-3580-3014	警察庁 生活安全局 生活安全企画課	傍嶋 良直
2	環境省関係者	03-3595-1716	環境省 自然環境局 国立公園課	宮森 由美子
3	気象庁関係者	03-3211-2032	気象庁 総務部 企画課	谷 寧人
4	消防庁関係者	03-5253-7576	消防庁 国民保護・防災部参事官付	福島 毅
5	山岳団体関係者	03-5843-1635	公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会	廣川 厚子
6	1～5以外	03-6734-3792	スポーツ庁 健康スポーツ課	伊藤 洋平